

新会長に五阿彌元市議

備後絃音頭をつなぐ会が総会



備後絃音頭をつなぐ会の令和6年度総会が20日、新市町の新市交流館で開かれ、同会役員やつなぎ人、来賓、関係者ら33人が参加した。昨年度の活動報告と収支報告、今年度の事業と予算の計画を

報告し、承認を求めた。

役員交代については、長く会長を務めていた河村規行さんが勇退し、今春に市議を引退した五阿彌寛之さんが継承した。河村さんは「備後絃はかつて日本全国に広まり、地域に元気があった。備後絃音頭を通して地域の活性化につなげた。私は来年1月1日で90才になるが、まだまだ10年は頑張りますよ」と笑いを

誘った。

五阿彌新会長

長は「河村会長が支えてこられた会を引き継ぎ、一生懸命力を尽くしたい」と意気込みを語った。来賓の小野申人府中市長は「つなぐ会の活動を通じて、3世代が同じ踊りを踊ることで地域のコミュニティが生まれる。教えられた子どもたちが大きくなつてからも地域の



新会長の五阿彌さん

思い出として残るところはとてほしい」と。ぜひ長く伝えていってほしい」とメールを送った。また、活動基本方針に今年度から「会の活動に対する意欲を高めるために主催イベントを開催する」という項目が加えられ、その一環と

して9月21日(土)に、新市町の素盞鳴神社境内で「天王さんお月見コンサート」を開く。地域の歴史的文化遺産の中で伝統芸能を継承していくことで、文化への敬意の気持ち育成されることを狙う。当日は午後5時から開催予定で、小学生の三味線に合わせて備後絃音頭を踊り、二胡やパンフレットなどの音色を楽しんでもらうという。軽食として、月

見そばや月見うどんを販売する計画。

総会の最後には、会員や役員、来賓も一緒に備後絃音頭を輪になつて踊った。